

# 中学歴史プリント（過去問類似）

## 江戸時代

名前

得点

/10

**問1** 1789年のフランス革命、人権宣言の採択、その後の周辺国との戦争という歴史的経緯を踏まえ、軍人から皇帝へと上り詰め、ヨーロッパの大部分を支配下に置いた人物は誰ですか。（2021年 佐賀公立入試 類似）

1. ナポレオン                      2. ルイ16世                      3. ロベスピエール                      4. ビスマルク

**問2** 江戸幕府が全国の大名を統制し、幕府の権力を強めるために1615年に制定した法令は何ですか。この法令には、大名が城の新築をすることや、幕府の許可なく大名同士が婚姻を結ぶことを禁止する内容が含まれています。（2022年 岡山公立入試 類似）

1. 武家諸法度                      2. 公家諸法度                      3. 御成敗式目                      4. 禁中並公家諸法度

**問3** 親藩の中でも特に格式が高い尾張・紀伊・水戸の三家は「御三家」と呼ばれ、幕府の統治において特別な特権を持っていました。その特権の内容として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 福島県公立入試 類似）

1. 将軍の跡継ぎがない場合に、後継者を出すことができる権利。      2. 老中などの幕府の最高役職を独占し、政治の実権を握る権利。      3. 長崎での貿易を独占し、その利益をすべて家計に入れる権利。      4. 参勤交代を免除され、常に自領で政務を行うことができる権利。

**問4** 江戸幕府の歴代将軍に関する統計において、9代家重や10代家治、11代家斉、12代家慶といった後代の将軍と比較した際、幕府領の石高に対する年貢高の割合を特に高く維持し、財政再建を強力に推し進めた第8代将軍は誰ですか。（2019年 香川公立入試 類似）

1. 徳川吉宗                      2. 徳川家重                      3. 徳川家治                      4. 徳川家斉

**問5** 江戸時代後期の北方の情勢と幕府の対応について述べた文として、正しい順序で並んでいるものはどれですか。（2026年 大阪公立入試 類似）

1. ロシア使節のラックスマンが根室に來航して通商を求めた後、間宮林蔵が樺太を探検し、その後、異国船打払令が出された。      2. 異国船打払令が出されたことで外交緊張が高まり、その調査のためにラックスマンが來航し、間宮林蔵が樺太へ派遣された。      3. 間宮林蔵が樺太を探検してそこが島であることを確認した後、その報告を受けたロシアのラックスマンが根室に來航した。      4. ロシアのラックスマンが來航した直後、幕府は直ちに異国船打払令を出して拒絶し、その後北方警備として間宮林蔵を派遣した。

**問6** 元禄時代に活躍した近松門左衛門は、人形浄瑠璃や歌舞伎の脚本を数多く執筆しました。彼の作品の多くに共通する特徴として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 茨城県公立入試 類似）

1. 東北や北陸を旅して、自然の風景や旅先での感動を俳句とともに記した。      2. 社会の義理と個人の人情との板挟みになって苦しむ男女の姿などを描いた。      3. 弥次さんと喜多さんという二人の人物が東海道を旅する様子を滑稽に描いた。      4. 武士の道徳や忠義を重んじ、歴史上の英雄たちの活躍を壮大な物語にした。

**問7** 江戸時代、幕府はキリスト教の禁教を徹底する一方で、第8代将軍の徳川吉宗は「享保の改革」において、キリスト教に関係のない「漢訳洋書」の輸入制限を緩和しました。この政策が取られた背景として最も適切な理由はどれですか。（2023年 島根公立入試 類似）

1. 実用的な学問である「実学」を奨励し、農業や天文などの知識を国内の産業や暦の改良に役立てるため      2. キリスト教の布教を認めることで、鎖国政策を終わらせてヨーロッパ諸国との自由貿易を再開するため      3. オランダ商館を出島から江戸へ移転させ、幕府が直接貿易を管理する体制を整えるため      4. イエズ会の宣教師を登用して、西洋の軍事技術を導入し幕府の軍事力を強化するため

**問8** フランス革命後の混乱を收拾し、1804年に国民投票によって皇帝の地位についた人物は誰か。（2023年 香川公立入試 類似）

1. ナポレオン                      2. クロムウェル                      3. ワシントン                      4. ロベスピエール

**問9** 江戸時代後期、織物業などの盛んな地域で見られた、一つの建物に多くの働き手を集め、手作業による分業と協業を通じて製品を生産する仕組みを何といいますか。（2026年 愛媛公立入試 類似）

1. 工場制手工業（マニファクチュア）      2. 問屋制家内工業                      3. 機械工業                      4. 大名貸

**問10** 江戸時代後期に書かれたある物語では、弥次郎兵衛と喜多八という二人の人物が伊勢参りに向かう道中を面白おかしく描いており、当時の庶民の間で大流行しました。この作品の作者は誰ですか。（2026年 滋賀公立入試 類似）

1. 十返舎一九                      2. 井原西鶴                      3. 松尾芭蕉                      4. 本居宣長

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> <b>ナポレオン</b>	フランス革命後の混乱期に軍人として台頭した人物です。彼は軍事的な成功を背景に権力を握り、1804年に国民投票を経て皇帝に即位しました。その後、ナポレオン法典（フランス民法典）を制定して革命の成果を法的に定着させるとともに、大規模な遠征を行ってヨーロッパの広範囲を支配しました。なお、ルイ16世は革命中に処刑された国王、ロベスピエールは革命期の恐怖政治を主導した人物です。
問2	<b>答え 1</b> <b>武家諸法度</b>	江戸幕府は大名の軍事力を抑え、反乱を未然に防ぐためにこの法令を定めました。城の無断修理や新築を禁じて防御を固めさせないようにしたほか、大名同士が勝手に縁組をして勢力を拡大することを防ぐ狙いがありました。鎌倉時代に定められた御成敗式目や、朝廷や公家を対象とした法令とは区別する必要があります。
問3	<b>答え 1</b> <b>将軍の跡継ぎがない場合に、後継者を 出すことができる権利。</b>	御三家は徳川将軍家の血筋を絶やさないための安全装置としての役割を担っていました。実際に、2代将軍秀忠の血統が途絶えた際、紀伊徳川家から8代将軍吉宗が選ばれるなど、幕府の存続において極めて重要な地位を占めていました。なお、老中などの役職に就くのは主に譜代大名の役割でした。
問4	<b>答え 1</b> <b>徳川吉宗</b>	徳川吉宗は紀伊藩主から第8代将軍に就任し、享保の改革を主導しました。当時の幕府は深刻な財政難に陥っていましたが、吉宗は収穫量に関わらず一定の税率を課す「定免法」の導入や新田開発の奨励によって、年貢高の割合を他の将軍の時代よりも高い水準で維持し、幕府財政の立て直しに成功しました。
問5	<b>答え 1</b> <b>ロシア使節のラックスマンが根室に 来航して通商を求めた後、間宮林蔵が樺太を 探検し、その後に異国船打払令が出され た。</b>	江戸時代後期の対外関係は段階的に緊張が増しました。まず1792年にロシアのラックスマンが根室に來航して通商を求め、これをきっかけに幕府は北方への関心を強めました。その後、1808年に間宮林蔵が樺太（サハリン）を探検して「間宮海峡」を発見し、樺太が島であることを確認しました。さらに外国船の來航が相次いだことで、1825年に異国船打払令が出されるに至りました。
問6	<b>答え 2</b> <b>社会の義理と個人の人情との板挟みにな って苦しむ男女の姿などを描いた。</b>	近松門左衛門は、竹本義太夫と協力して人形浄瑠璃（文楽）の黄金時代を築きました。彼の作品、特に『曽根崎心中』などの「世話物」では、当時の社会規範である「義理」と、人間としての感情である「人情」の葛藤が主題となっており、町人たちの深い共感を呼びました。他の選択肢は、松尾芭蕉の『おくのほそ道』や十返舎一九の『東海道中膝栗毛』に関する記述です。
問7	<b>答え 1</b> <b>実用的な学問である「実学」を奨励し、 農業や天文などの知識を国内の産業や暦 の改良に役立てるため</b>	徳川吉宗は、幕府の財政を立て直すために産業の発展を重視しました。その一環として、キリスト教の布教に繋がらない科学技術や医学などの実用的な知識が書かれた漢訳の西洋書籍（漢訳洋書）に限り、輸入制限を緩めました。この政策は、のちに杉田玄白らが活躍する「蘭学」が発展する重要なきっかけとなりました。
問8	<b>答え 1</b> <b>ナポレオン</b>	フランス革命による政治的な混乱が続く中、軍人として頭角を現した人物についての問いです。エジプト遠征などで軍功をあげ、クーデターによって実権を握ると、その後、国民からの圧倒的な支持を背景に皇帝となりました。彼は「ナポレオン法典」を制定し、革命で得られた法の前の平等や私有財産の尊重といった原則を法的に確立しました。
問9	<b>答え 1</b> <b>工場制手工業（マニュファクチュア）</b>	江戸時代中期に主流だった、商人が農民に原料や道具を貸し出して自宅で加工させる「問屋制家内工業」から一歩進んだ形態です。広い屋根の下に多くの人々が横一列に並び、糸を紡ぐ工程や布を織る工程をそれぞれ分担して効率的に作業を進めるのが特徴で、のちの明治時代の産業革命（機械工業）へとつながる重要な段階となりました。
問10	<b>答え 1</b> <b>十返舎一九</b>	江戸時代後期の化政文化では、庶民の旅や日常生活をユーモアたっぷりに描いた「滑稽本」というジャンルが人気を博しました。十返舎一九が書いた『東海道中膝栗毛』はその代表作であり、伊勢参りという当時の庶民の憧れを題材にしています。井原西鶴は元禄文化期に「浮世草子」を執筆した人物であり、時代背景や作品の性質が異なるため注意が必要です。